

3 H-11出土の玉類について

今年度の調査で、H-11とした擦文時代の竪穴住居跡から、ガラス玉がヒスイの勾玉や金属製品などと伴にまとまって出土した。出土状況や玉類の観察から想定される事例について若干まとめてみた。

出土状況（図Ⅲ-27～32、図版21～23）

H-11は牧草地の地表面で浅い凹みとして確認できた。覆土の上層には耕作土、牧草地造成の際の埋土、廃棄されたゴミの攪乱層があったため、これらを除去し、旧表土層を露出させた段階から調査を行った。床はⅥ層の黄褐色ロームに掘り込まれており、玉類はこの面の直上1～2cmの黒褐色土から一部が数珠状に連なって出土した。出土した当初は上層遺構の存在を想定したが、土層の観察からは、人為的な堆積や盛土は認められず、床面にも遺構の掘り込みは確認できなかったため、竪穴住居跡に伴うものと判断した。

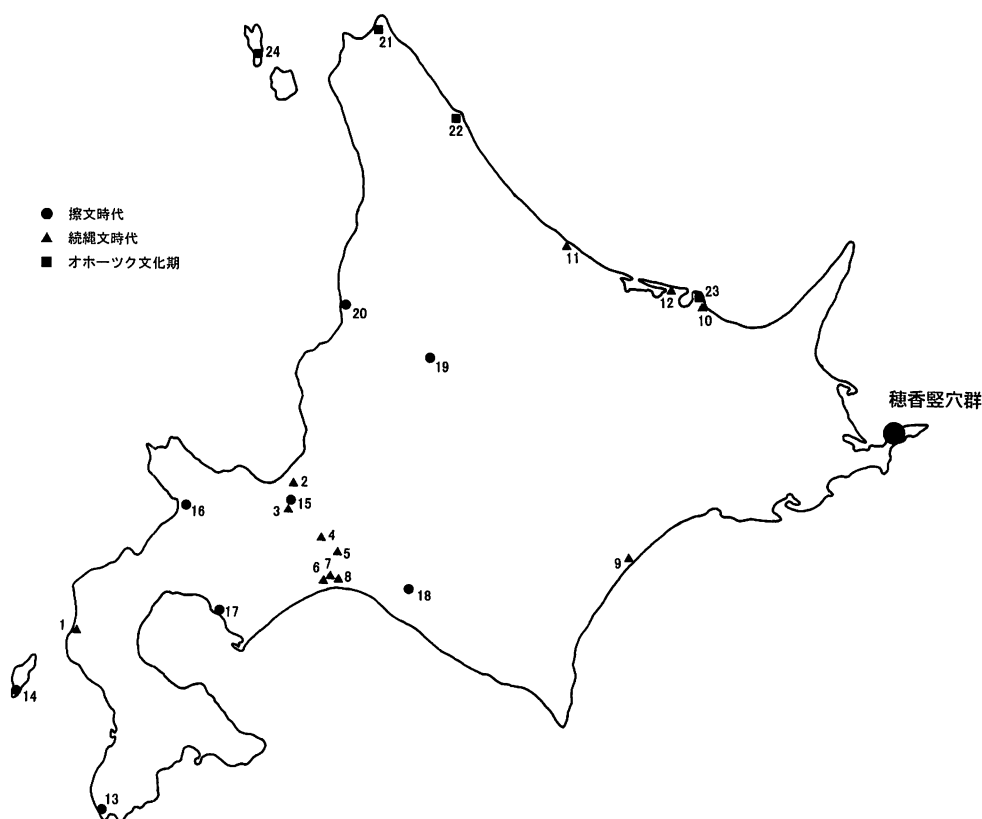
出土遺物（カラー図版8、図Ⅲ-31、図版55、表7）

玉類は、土壌水洗で出土したものも含め67点である。ガラス玉は57点でそのうち図化・計測できたものは図Ⅲ-31に図示した43点である。ほかに金属製品が8点（2点は同一個体）、ヒスイ製の勾玉1点、凝灰岩製の有孔自然礫が1点である。ガラス玉の形態は丸玉が大半で風化が激しい。表面は黒褐色を呈し、その下は白色で発泡したような状態である。中心部分が観察できるものはすべて青色が確認できるので、元は青色の玉であったと思われる。他に風化がみられないものが5点あり、図Ⅲ-31-14・25・38・42・44でそれぞれ異なる色調である。また、図Ⅲ-31-14はその形態や色調から続縄文時代のものである可能性が考えられる。整形の方法は、すべて針金状のものに溶けたガラスを巻き付ける、いわゆる巻き付け法で作られている。奈良県飛鳥池遺跡例のような鑄型を用いて製作されたものはない。これらのガラス玉は、北海道大学の小笠原正明氏より研究のため、成分分析を行いたいとの依頼があり、非破壊分析を条件に試料の提供を行った。その結果、ガラス玉の材質は大半が鉛ガラスである。鉛ガラス以外では、図Ⅲ-31-25・42が鉛石灰ガラス、図Ⅲ-31-44がカリ石灰ガラスで、これらは風化がみられないガラス玉であった。その後、鉛同位体分析を行いたいと再度依頼があったが、鉛同位体分析は破壊分析を行うことから、接合作業等が終了した後、小破片のため接合し得なかった個体8点について試料の提供を行った。これらの分析結果に関する報告は現在依頼中である。金属製品はすべて青銅製で、ベルト金具状のものやボタン状のものがあるが、正確な用途は不明である。なお、現場段階でのガラス玉の仮強化は村田が、最終的な保存処理は第1調査部第1調査課の田口尚が行った。

ガラス玉の出土例

ガラス玉と金属製品がまとまって出土した例は、伊達市オヤコツ遺跡がある。ガラス玉にヒスイ製の勾玉が伴う例は奥尻町青苗貝塚に見られる。住居跡からガラス玉が出土した例は、表に示したように少なく、出土点数も1～数点である。今回のような出土状況を示す例は、管見する限り穂香竪穴群例が初出である。H-11は玉類以外に出土した遺物は殆どなく、住居廃用の際に持ち出されたと考えられるため、玉類のみが「置き忘れ」たものとは考えにくい。このような「副葬品」的な遺物からは、墓の可能性が考えられるが、調査では掘り込み、埋め戻し、盛土など墓を示すものは確認できなかった。仮に墓であるとするならば、出土状況から、廃用された住居床面に遺体そのまま安置され、その後、上屋を含め住居が自然崩落して埋没した状況が想定されるが、はたしてそのような墓制が存在するのだろうか、今後の事例の増加をまって再検討したい。

（村田 大）



ガラス玉出土遺跡一覧（続縄文時代、擦文時代、オホーツク文化期）

時期区分	NO.	出土遺跡	出土状況	ガラス玉の種類	その他玉の種類	時期	備考	文献
続縄文	1	兜野（北桧山町）	住居跡	小玉1		奈良時代		北檜山町教委1965
	2	八幡町ワッカオイ地区D地点（石狩市）	第23号土墳墓	玉1点＋半穴1点（浅黄？）				石橋孝夫1977
	3	北大橋内ボブラ並木東地区（札幌市）	1号墓	丸玉3点（濃青2 半透明青1）		北大式		横山英介1987
	4	柏木B（恵庭市）	第71号土墳	小玉30点（濃青）		北大式		木村英明1981
			第17号土墳墓	小玉1点（青）		後北C2-D		
	5	祝梅川山田（千歳市）	黒層	白玉1点（濃青）		北大式		田村俊之1991
	6	タブコブ（苫小牧市）	8号墳墓	小玉片13点（青）		後北C2		佐藤一夫・宮崎靖夫1984
			14号墳墓	小玉片2点（青）		後北C2		
	7	共和（苫小牧市）	1-8層	小玉1点（濃青）アルカリ石灰			分析あり	宮崎靖夫1987
	8	静川37（苫小牧市）	1B層	小玉2点（青）アルカリ石灰			分析あり	工藤雅ほか1992
	9	十勝太若月（浦幌町）	土壇24	小玉1点（青）		後北C1		後藤秀彦1975
			土壇26	小玉10点（青）	管玉2点（材質不明）	後北C1		
擦文			土壇85	小玉2点（透明青）	管玉2点（碧玉）	後北B		
	10	南6条アイヌ地（網走市）	土壇	小玉1点（濃青）	小玉20点（石？）	後北C2-D？		畠山三郎太1966
	11	砂原2（紋別市）	GP-1	小玉（濃青）		後北C2	H1・H5調査	
	12	常呂川河口（常呂町）	ピット300	小玉20点（青紫）		後北C1	頭蓋骨眼球部	武田修1996
	13	札前（松前町）	第21号住居址	板状ガラス片 アルカリ石灰		10C後半	分析あり	久保泰ほか1985
	14	腎苗貝塚（奥尻町）	墳墓		勾玉（ヒスイ）、平玉（水晶）			佐藤忠雄1979
	15	K-39（札幌市）	5a層	丸玉3点（青）カリ石灰		後期後半	分析あり	藤井誠二ほか2001
	16	下リヤムナイ（共和町）	竪穴	丸玉5点（青・緑）				大場利夫1958
	17	オヤコツ（伊達市）	方形配石墓Ⅱ号	約30点アルカリ石灰シリカ	金属製品	12C±	分析あり	竹田輝雄ほか1933
	18	カンカン2（平取町）	K-1盛土1層	小玉1点（青）				森岡健治1996
	19	錦町5（旭川市）	MK20竪穴	板状ガラス片 アルカリ石灰		10C前後	分析あり	瀬川拓郎1985
	20	高砂遺跡第2地点（小平町）	第2号住居址	丸玉1点（浅黄）				福土廣志ほか1985
オホーツク	21	オンコロマナイ貝塚（稚内市）	B-1区貝層下	丸玉1点（硝瑠璃）			1959調査	大場利夫・大井晴男編1973
			J-23区	丸玉1点（透明）			1968調査	大場利夫・大井晴男編1973
	22	目梨泊（枝幸町）		小玉1点（青）				佐藤隆広1988
	23	モヨロ貝塚（網走市）		丸玉（淡青に白模様）白玉（淡青または濃青）				大場利夫1973
	24	香深井5（礼文町）	P-11焼土面	小玉1点（紫）				稲田幸生ほか1997
			包含層	小玉2点（青）				
			I層（水洗）	丸玉3点				内山真澄ほか1999

図VI-5 北海道のガラス玉が出土した遺跡

表3 遺構一覧

遺構番号	時 期	位 置	平面形	長軸 (m) 上場 下場		短軸 (m) 上場 下場		深さ	備 考
H-6	縄文時代	O-88~91. P-88~91. Q-88~91	方形	10.16	9.72	9.6	9.46	1.12	カマド2、炉4
H-7	縄文時代	M-66・67. N-66~68. O-66~68	長方形	5.4	5.14	3.46	3.2	0.34	炉1
H-8	縄文時代	I-65~67. J-64~67. K-64~67. L-64~67. M-64~66	長方形	6.7	6	4.5	4.2	0.66	炉1
H-9	縄文時代	M-59・60. N-58~60	長方形	3.66	3.08	3.5	2.94	0.62	
H-10	縄文時代	M-61~63. N-61~63. O-61~63	長方形	4.14	4	3.56	3.38	0.64	炉1
H-11	縄文時代	G-62~64. H-62~64. I-62・63	方形	7.46	7.44	6.83	6.83	0.8	カマド1、炉3
H-12	縄文時代	J-58・59. K-58・59	長方形	5.55	4.08	5.19	3.75	0.35	
H-13	縄文時代	F-56・57. G-55~57. H-56・57	方形	5.76	5.6	5.19	5.1	0.89	カマド1、炉3
H-14	縄文時代	F-52・53. G-52・53. H-52・53	方形	6.28	6.16	5.96	5.8	0.78	カマド1、炉3
H-15	縄文時代	L-53・54. M-53・54	方形	3.5	3.34	3.24	3.14	0.72	炉1
H-16	縄文時代	K-51・52. L-51・52	方形	3.52	3.42	3.04	2.98	0.52	炉1
H-17	縄文時代	H-80・81. I-80・81	長方形	4.8	4.49	4.07	3.77	0.59	炉1
H-18	縄文時代	C-81. D-81・82	不明	—	—	—	—	0.83	カマド1
JP-1	縄文時代	K-49・50	楕円形	2.76	2.09	2.21	1.51	0.6	
JP-2	縄文時代	K-49	楕円形	2.57	1.96	2.03	1.13	0.57	
F-1	縄文時代	M-77							
F-2	縄文時代	M-77							
F-3	縄文時代	M-55・56							
F-4	縄文時代	N-57							
S-1	縄文時代	L-59・60 M-59・60							

表4 掲載復元土器一覧

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口徑	底徑			
図Ⅲ-12	1	47-1	Ⅱ-7	床(17)・覆土Ⅰ(83)	N65(Ⅰ・Ⅰ)・N66(Ⅱ・Ⅰ)	H-7(床・10)・H-7(覆土Ⅰ・88)	胴上半部～底部	102	98	(13.0)		5.5	砂粒含む	良	小片多い
時期	部位	外 面						内 面							
		文 様		調 整		色 調		その他		調 整		色 調		その他	
縄文時代後期後半	胴上半部	横沈線						剥がれ多い		縦ヘラミガキ				剥がれ有り	
	胴下半部			縦ヘラミガキ(稜不明瞭)		褐色＋黒褐色				縦ヘラミガキ		黒褐色＞褐色			
	底部			縦ヘラミガキ(稜不明瞭)		黒褐色＞褐色		部分的に磨耗		縦ヘラミガキ		黒褐色			
	底面			ナデ?		褐色		凸形で不安定、やや磨耗		ナデ?				磨耗	

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口 径	底径			
図Ⅲ-21	1	47-2	Ⅱ-9	床(2)・床1(31)		Ⅱ-9(床1・36)	胴下半部～底部	33	36	(11.3)		4.6	小礫、砂粒含む	良	
時期 縄文時代 後期後半	部位 胴下半部 底部 底面	外 面						内 面							
		文 様		調整		色調		その他		調整		色調		その他	
				縦ヘラミガキ(稜不明瞭)		暗褐色		全体的に磨耗		縦ヘラミガキ		黒色>黒褐色			
				縦ヘラミガキ(稜不明瞭)		暗褐色		全体的に磨耗							
				ナデ		暗褐色									
		ナデ										剥がれ有り			

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量	胎 土	焼成	その他	器高	口 径
図Ⅲ-26	1	47-3	Ⅱ-10	床(6)・覆土1(2)・覆土(1)	N63(Ⅰ・2)		口縁部～胴上半部	11		(8.7)	20.2	(16.8)	砂粒含む	良	
時期	部位	外 面								内 面					
		文 様		調 整		色 調		そ の 他		調 整		色 調		そ の 他	
縄文時代後期後半	口唇部	横位凹み状沈線		横ナデ		暗褐色＞黒色		断面角状							
	口縁部	縦平行沈線		横ナデ		暗褐色＞黒色		煤少量付着							
	胴上	縦平行沈線と斜位平行沈線の組み合わせ(4本単位)		縦ハケメ→横ナデ→(部分的に縦ミガキ)		暗褐色＞黒色		煤少量付着		横ミガキ		黒色		煤付着	
	胴中位	横沈線(2本)		ナデ→縦ミガキ(稜不明瞭、やや粗い)		黒色＞暗褐色				横ミガキ(稜不明瞭、粗い)		黒色		煤付着	

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口 径	底径			
図Ⅲ-22	2	47-4	II-10	床(5)・覆土(2)			口縁部〜胴下半部	7		(17.1)	21.4	11.2	砂粒含む	良	破片大形、補修1ヵ所有
時期	部位	外 面					内 面								
		文 様		調整		色調		その他		調整		色調		その他	
縄文時代後期後半	口唇部					黒色				横ミガキ		黒色			
	口縁部	横位列点・短刻線(施文具2種類)		横ナデ		黒色>暗褐色				横ミガキ(稜明瞭)		黒色			
	胴上半部	縦平行沈線(4本単位)と斜位平行沈線(2本・3本単位)の組み合わせ		横ナデ		黒色>黒褐色		煤少量付着		ナデ→縦ミガキ(稜明瞭、やや粗い)		黒色			
	胴下半部			横?ナデ→縦ミガキ(稜明瞭、やや粗い)		黒色>黒褐色				縦ミガキ(稜明瞭)		黒色			

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-30	1	47-5	Ⅱ-11	床(3)	164(攪乱・174)・J63(Ⅱ・Ⅰ)・K63(Ⅱ・Ⅰ)	Ⅱ-11(Ⅰ)・164(攪乱・45)	口縁部～底部	179	46	37.2	34.6	6.6	砂粒多く含む	やや不良	大形深鉢
時期	部位	外 面										内 面			
		文 様	調整	色調	その他		調整	色調	その他		調整	色調	その他		調整
縄文時代後期後半	口唇部	斜位列点2段、列点間に横沈線(1本) 縦平行沈線(6、7本単位)と斜位平行沈線(5、6本単位)の組み合わせ 横沈線(6本)と斜位沈線(4、5本単位)の組み合わせ	横ミガキ	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	口縁部		横ナデ	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	胴上半部		縦ハケメ→縦?ナデ	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	胴下半部			黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	底部			黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	底面			黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-35	1	48-1	Ⅱ-12	覆土1(Ⅰ)	J57(Ⅱ・6)・J58(Ⅱ・Ⅰ)・J59(Ⅱ・Ⅰ)		口縁部～底部	9		7.8	9.4	4.5	砂粒含む	良	小型深鉢
時期	部位	外 面										内 面			
		文 様	調整	色調	その他		調整	色調	その他		調整	色調	その他		調整
縄文時代後期後半	口唇部	斜位平行沈線(2～4本単位)の組み合わせ	横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	煤付着		横ミガキ
	口縁部		横ナデ	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	煤付着		横ミガキ
	胴上半部		縦ナデ	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	胴下半部		縦ミガキ(稜明瞭、やや粗い)	暗褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色	煤付着		横ミガキ
	底部		縦ミガキ(稜明瞭、やや粗い)	暗褐色(部分的にやや赤化)	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色(部分的にやや赤化)	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色(部分的にやや赤化)	煤付着		横ミガキ
	底面		ナデ→部分的にミガキ	暗褐色(部分的にやや赤化)	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色(部分的にやや赤化)	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色(部分的にやや赤化)	煤付着		横ミガキ

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-44	1	48-3	Ⅱ-13	床(Ⅰ)・覆土(43)		Ⅱ-13(覆土・12)	口縁部～底部	44	12	24.6	21.9	4.0	砂粒わずかに含む	良	補修孔4カ所有り
時期	部位	外 面										内 面			
		文 様	調整	色調	その他		調整	色調	その他		調整	色調	その他		調整
縄文時代後期後半	口唇部	斜位列点(2段) 浅い横位凹み状沈線 斜位平行沈線(4～6本単位)の組み合わせ 横沈線(3～4本)	横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	煤付着		横ミガキ
	口縁部		横ナデ	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	煤付着		横ミガキ
	胴上半部		縦ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	煤付着		横ミガキ
	胴下半部		縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	底部		縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	底面		ナデ	褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	褐色	煤付着		横ミガキ

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-44	2	48-4	Ⅱ-13	カマド覆土(69)		Ⅱ-13(カマド覆土・23)	口縁部～底部	69	23	31.2	28.5	7.1	小礫、砂粒多い	良	カマド出土
時期	部位	外 面										内 面			
		文 様	調整	色調	その他		調整	色調	その他		調整	色調	その他		調整
縄文時代後期後半	口唇部	斜位短列線(2段) 浅い横位凹み状沈線(3本) 縦平行沈線(3、4本単位)と斜位平行沈線(3、4本単位)の組み合わせ 横沈線(6本)	横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	煤付着		横ミガキ
	口縁部		横ナデ	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒色	煤付着		横ミガキ
	胴上半部		縦ミガキ(稜明瞭)	暗褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色	煤付着		横ミガキ
	胴下半部		縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	底部		縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	黒褐色	煤付着		横ミガキ
	底面		ヘラナデ	暗褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色	剥がれ有り		横ミガキ(稜明瞭)	暗褐色	煤付着		横ミガキ

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-53	1	48-5	Ⅱ-14	覆土(5)・掘揚土(23)	M77(Ⅱ・2)・H53(Ⅰ・63)	Ⅱ-14(覆土・5)・Ⅱ-14(掘揚土・10)・M77(Ⅱ・3)・H51(Ⅰ・1)・H53(Ⅰ・43)	口縁部～底部	93	62	32.2	27.9	6.8	砂粒含む	良	無文、補修孔3ヵ所有
時期	部位	外 面					内 面					胎 土	焼成	その他	
		文 様	調整	色調	その他		調整	色調	その他						
縄文時代後期後半	口唇部		横ミガキ(稜明瞭)	黒色			横ミガキ(稜明瞭)	黒色			砂粒含む	良			
	口縁部		縦ハケメ→横ナデ	黒色+暗褐色			斜位ミガキ(稜明瞭)	黒色							
	胴上半部		ナデ→縦ミガキ(稜やや不明瞭)	暗褐色>褐色			縦のミガキ(稜明瞭、やや粗い)	黒色							
	胴下半部		縦ミガキ(稜明瞭)	暗褐色>赤褐色			ミガキ(稜やや不明瞭)	黒色							
	底部		縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色>赤褐色											
	底面		ヘラナデ	暗褐色											

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-53	2	49-1	Ⅱ-14	覆土(21)・掘揚土(27)・不明(1)	H52(Ⅱ・1)・H52(Ⅰ・3)・H53(Ⅰ・2)	Ⅱ-14(床・1)・Ⅱ-14(掘揚土・8)・H52(Ⅱ・1)・H52(Ⅰ・5)・H53(Ⅰ・5)	口縁部～底部	56	20	24.3	20.9	6.3	砂粒含む	良	
時期	部位	外 面					内 面					胎 土	焼成	その他	
		文 様	調整	色調	その他		調整	色調	その他						
縄文時代 後期後半	口唇部		横ミガキ(稜不明瞭)	黒褐色											
	口縁部	斜位短刻線(3段・羽状) 凹み状沈線(3本)	横ミガキ(稜不明瞭) 横ナデ	暗褐色>黒色											
	胴上半部	縦平行沈線の地に斜位平行沈線(4・5本単位)による文様沈線(5本)	横ナデ	暗褐色+黒褐色	部分的に煤付着										
	胴下半部		縦ミガキ(稜明瞭)	黒褐色>褐色	部分的に煤付着										
	底部 底面		横ナデ→縦ミガキ ミガキ(稜不明瞭)												

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-58	1	48-2	Ⅱ-16	床(8)			口縁部～底部	8		10.7	4.9	8.7	砂粒含む	良	
時期	部位	外 面							内 面						
		文 様	調 整	色 調	その他			調 整	色 調	その他					
縄文時代後期後半	口唇部		横ミガキ(稜不明瞭)	黒褐色					横ナデ→横ミガキ(稜不明瞭、やや粗い)	黒色					
	口縁部		横ナデ	暗褐色>黒褐色					斜位ナデ→ミガキ?	黒色					
	胴部		縦ハケメ→斜位ミガキ(稜明瞭、やや粗い)	黒褐色+暗褐色						黒色	やや磨耗				
	底部		縦ミガキ(稜明瞭、やや粗い)	黒褐色>暗褐色					ナデ	暗褐色					
	底面		ヘラナデ	暗褐色											

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-63	1	49-2	Ⅱ-17	床(19)			口縁部～底部	19		18.8	17.2	5.0	砂粒含む	良	
時期	部位	外 面					内 面					胎 土	焼成	その他	
		文 様	調整	色調	その他		調整	色調	その他						
縄文時代後期後半	口唇部	斜位列点(2段) 凹み状沈線(2本) 斜位平行沈線の地に斜位平行沈線(4～7本単位)の文様 横沈線(4本)	横ミガキ(稜明瞭)	黒色>暗褐色	その他	横ミガキ(稜明瞭)	黒色	横ミガキ(稜やや不明瞭)	黒色	横ミガキ	黒褐色>黒色	ナデ	黒褐色		
	口縁部		横ナデ	褐色>黒褐色											
	胴上半部		横ナデ	黒褐色>褐色											
	胴下半部		縦ハケメ→縦ミガキ(稜明瞭、やや粗い)	黒褐色>暗褐色											
	底部		縦ミガキ	暗褐色										部分的に赤褐色化	
	底面		ナデ→部分的にミガキ	褐色			やや張り出す								

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・ 出土区(層 位・点数)	層位(点数)	接合破片出 土位置(層 位・点数)	未接合破片出 土位置	部 位	接 合 破 片 数	未接 合 破 片 数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅲ-63	2	49-3	Ⅱ-17	床(75)		Ⅱ-17(床・28)	口縁部～底部	75	28	21.9	20.5	5.4	砂粒含む	良	無文
時期	部位	外 面					内 面					胎 土	焼成	その他	
		文 様	調整	色調	その他	調整	色調	その他							
縄文時代 後期後半	口唇部		横ミガキ	褐色>黒褐色		補修孔2個有り 煤少	横ミガキ(稜不明瞭)		黒色		煤付着				
	口縁部		横ナデ	褐色>黒褐色		墨付着	横ミガキ(稜不明瞭)		黒色		煤付着				
	胴上半部		縦ハケメ→縦ミガキ (稜不明瞭)	暗褐色>褐色		剥がれ有り	横ミガキ(稜不明瞭)		黒色>褐色						
	胴下半部		縦ハケメ→縦ミガキ (稜不明瞭)	褐色>暗褐色			縦ミガキ(稜不明瞭)		黒色>暗褐色						
	底部		縦ミガキ(稜不明瞭)	暗褐色			縦ミガキ(稜不明瞭)		黒色						
	底面		ナデ	暗褐色		やや上げ底	ナデ		黒色						

穂香竪穴群

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅳ-1	1	49-4	L56(Ⅱ・2)・M55(Ⅱ・11)・M56(Ⅱ・19)		L56(Ⅱ・1)・M56(Ⅱ・12)・M57(Ⅱ・2)		口縁部～胴下半部	32	15	(20.5)	23.0	(7.2)	砂粒含む	良	補修孔5ヵ所有り
時期 縄文時代 後期後半	部位	外 面										内 面			
		文 様		調整		色調		その他		調整		色調		その他	
	口唇部			横ミガキ(稜やや不明瞭)		暗褐色									
	口縁部	短刻線(2段)		横ナデ		暗褐色				横ミガキ(稜不明瞭)		暗褐色			
	胴上半部	縦平行沈線の地に斜位の平行沈線(4～6本単位)で山形縁横沈線		ナデ		暗褐色				横ミガキ(稜不明瞭)		暗褐色			
	胴下半部	縦ミガキ(稜やや不明瞭)		縦ミガキ(やや斜位気味 稜やや不明瞭)		暗褐色>褐色		一部赤褐色		縦ミガキ		暗褐色			

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅳ-1	2	49-5	M56(Ⅱ・27)・M56(Ⅱ・1)			M56(Ⅱ・2)	口縁部～胴上半部	28	2	(9.0)	17.7	14.3	砂粒含む	良	
時期	部位	外 面							内 面						
		文 様	調整	色調	その他			調整	色調	その他					
縄文時代後期後半	口唇部		横ミガキ(稜不明瞭)	褐色	やや磨耗										
	口縁部	刺突列(2段)	横ナデ	褐色>暗褐色	やや磨耗										
	胴上半部	縦沈線(2本単位)、斜位沈線(2本単位)の組み合わせ刺突列(3段)	縦ミガキ(稜不明瞭)	褐色>暗褐色	やや磨耗										

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅳ-3	1	52 53-1	N51(Ⅱ・4)・ N52(Ⅱ・36)			N51(Ⅱ・30)・ N52(Ⅱ・25)	口縁部～胴下半部	40	55	(31.8)	24.3	(5.4)	砂粒多 く含む	良	繊維含む
時期	部位	外 面					内 面					その他			
		文 様	調整	色調	その他	調整	色調	その他							
縄文時代 後期 北簡Ⅲ式	口唇部	LRL複節斜縄文		暗褐色	動物意匠付突起4ヶ所										
	口縁部	肥厚帯RLR複節斜縄文、棒状隆起帯4ヶ所円形刺突	ナデ	赤褐色>暗褐色								横ナデ	褐色>暗褐色		
	胴部	無文帯円形刺突複節羽状縄文	ナデ	赤褐色>暗褐色								横ナデ	黒褐色>褐色		

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他
										器高	口径	底径			
図Ⅳ-4	2	51-2	L51(風倒木・10)・S1(Ⅱ・7)・N51(Ⅱ・2)・N52(Ⅱ・37)			L50(風倒木・4)・L51(風倒木・5)・M50(Ⅱ・12)・M51(Ⅱ・2)・M52(Ⅱ・2)・M52(Ⅲ・16)・N50(Ⅲ・8)・N51(Ⅱ・11)・N52(Ⅱ・4)	口縁部～胴下半部	56	64	(41.0)	28.0	(14.4)	小 礫、砂粒多く含む	良	繊維含む
時期	部位	外 面					内 面					その他			
		文 様	調整	色調	その他	調整	色調	その他							
縄文時代後期北簡Ⅲ式	口唇部	R L R 複節斜縄文、突起部円形刺突	ナデ	褐色>暗褐色											
	口縁部	肥厚帯 R L R 複節斜縄文、円形刺突、突起部縄押圧	ナデ	褐色>暗褐色								横ナデ	褐色>暗褐色		
	胴部	無文帯円形刺突複節羽状縄文	ナデ	褐色+暗褐色								横ナデ	暗褐色		

図番号	掲載番号	図版番号	出土遺構・出土区(層位・点数)	層位(点数)	接合破片出土位置(層位・点数)	未接合破片出土位置	部 位	接合破片数	未接合破片数	法 量			胎 土	焼成	その他		
										器高	口径	底径					
図Ⅳ-4	3	51-3	M51(Ⅱ・36)			M51(Ⅱ・261)	口縁部～胴下半部	36	261	(28.7)	22.6	(13.1)	砂粒多く含む	良	繊維含む		
時期	部位	外 面							内 面								
		文 様		調 整		色 調			そ の 他		調 整		色 調		そ の 他		
		口唇部	R L R 複節斜縄文、突起部縄押圧	ナデ		暗褐色>褐色	繊維含む										
			口縁部	R L R 斜縄文 無文帯円形刺突	ナデ		暗褐色>褐色	刺がれ多い					横ナデ		暗褐色		
北簡Ⅲ式	胴部	R L R 斜縄文	ナデ		暗褐色						横ナデ		暗褐色				